

箕面自由学園 同窓会報

豊中市宮山町4-21-1
箕面自由学園同窓会
広報委員会
TEL 06-6852-8110(学園内)
FAX 06-6147-7337
http://www.mino-jiyu.jp/
mjg-dosokai@cap.ocn.ne.jp
郵便振替口座 00920-2-2458

同窓会会長に能美晋氏(一二二期)

七月三日、臨時役員会が開かれ同窓会会長に能美晋氏が満場一致で選出されました。また役員二人も選出、就任されました。任期は二年間です。当日の役員会で能美会長は、学園を愛する気持ちには誰にも負けない、与えられた職務は精一杯務める、と力強く挨拶をされました。その後、役員紹介があり、それぞれ抱負を語られました。学園にとっても、同窓生の役割がとても重要になって来ております。益々活気溢れる同窓会になることを願っています。

会長挨拶

昨年前会長の平井宏氏が学園経営専念のため辞意表明し、期中半故に私が会長代行を引き受け、本年五期末で任期満了になりました。しかし、五月二十九日の役員会で役員選考委員会の結果を受けて会長に選任され、六月一日から平成二十四年まで務めることになりました。

同窓会とは、あくまで同じ学園で学んだ者同士の親睦団体です。しかし私学の場合は母校に対する最大のサポーターである義務があると思います。私たちの学園は、長い歴史の中で、保護者と卒業生が主体になり、幾度も直面した経営危機を乗り越えてきました。現在、教育経費の高騰とそれに反する公的援助の削減、少子化の中での受験競争激化など、私学を取り巻く環境は年一年と厳しくなっています。私たちに何が出来るのでしょうか。金銭的援助は勿論ですが、「カネの無い奴はアセを流せ」「あなたは母校に対して何が出来るか」。同窓会としてするべきこと



は今年度予算に盛り込んだつもりです。皆さん同窓生としてどんな小さなことでも一歩踏み出しましょう。

私は昨年一年かけて、同窓会各委員会の業務分担の明確化を進めました。学園の誇るべき良さは、私塾的な家庭的で同窓生は皆兄弟ですが、これが「わかってるつもり」「誰かにまかせとけ」など曖昧さの基になっていないか。同窓会の業務は、誰がやっても、今すぐ担当しても、同じことが出来る。その第一歩のつもりでした、今後も業務の標準化は継続

役員名簿

会長	能美 晋 (一二二期)
副会長	平野 昌雄 (三四期)
事務局長	平松 一夫 (三四期)
事務局次長	奥田 良子 (三四期)
事業委員長	佐々木 忠 (三十期)
事業副委員長	吉野 耕史 (三三期)
組織委員長	横井さと子 (三三期)
組織副委員長	亀井 真人 (三二期)
広報委員長	渡辺 完司 (五六期)
広報副委員長	池廣 友子 (三一期)
振興協力委員長	石井 信夫 (四四期)
振興協力副委員長	石橋 修子 (四五期)
財政委員長	松村 寿夫 (三三期)
財政副委員長	吉城 康守 (三三期)
会計監査	溝口 俊樹 (三六期)
名譽会長	西村 勝正 (四五期)
事務局長	吉田 忍 (三一期)
事務副局長	安田千津子 (三二期)
事務副副局長	坂田 考良 (三五期)
事務副副副局長	田中友美子 (六七期)
事務副副副副局長	高橋 豪 (七一期)
事務副副副副副局長	平松 一夫 (三四期)
事務副副副副副副局長	井尻めぐ美 (五九期)
事務副副副副副副副局長	四方田周三 (四三期)
事務副副副副副副副副局長	飯塚 春生 (三三期)
事務副副副副副副副副副局長	西岡 允彦 (二六期)
事務副副副副副副副副副副局長	三島 正三 (二八期)
事務副副副副副副副副副副副局長	伊藤 隆夫 (三十期)
事務副副副副副副副副副副副副局長	長尾 益夫 (三十期)
事務副副副副副副副副副副副副副局長	城戸崎保博 (三三期)
事務副副副副副副副副副副副副副副局長	中西 寛治 (一八期)
事務副副副副副副副副副副副副副副副局長	平井 宏 (三三期)

約一万五千人の学園同窓生が一枚岩に成ることは不可能ですが、可能な限り多くの同窓生から意見をいただき、一人でも多くの同窓生の参画を期待して運営に努める所存です。

したいと考えています。

今年、9月23日(木祝)！さあ、学園に行こう！！

第23回学園まつり 10時～15時まで開催されます。



高3 橋田 智

倉智記念館1階で同窓会のつどいをやっています。軽食・飲み物あり。懐かしい顔に会えるかも。駐車スペースはありません。車での来場は禁止します。

スーパード特進コースへ

『京都大学、大阪大学、神戸大学を目指します』これが本年度からスタートした高等科スーパード特進コースです。二年生から文理に分かれ、各クラス定員十五名という面倒見のよい、少人数・個人指導という学園の伝統を色濃く継承し、従来以上に、自由学園らしさが増したコースです。

これまでの本校特進コースの経験を生かし、新しい発想の下、主要教科においては難関国立大学合格実績豊富なベテラン教師陣を新たに迎え、教育内容も大幅に改変しました。

このコース一学期の現一年生は始業前の早朝テストから放課後の受験対策講習やチューター指導による自学自習に励み、毎日夜七時半まで頑張っています。全ての学校行事にも燃え、クラスが一つになり期待に違わぬ成果を生み、充実した毎日を楽し

小学校耐震工事

今年の夏休みを利用して、小学校校舎の耐震補強工事が行われた。昨年度は中学校と高等学校校舎で工事が実施され、心なし学園全体全体が一新された感じである。柱は太く補強され、所々に円柱が設置されている。天井・壁・床などは新築のような状態になっている。生徒は気持ちよく、二学期を迎えられることができるでしょう。

同期会だより

来年も再会を約束

二期 竹内 正治

箕面の山の中腹にある箕面山荘「風の杜」にて我々中学一期生は校がまだ少し残っている四月十六日に久しぶりにクラス会を開きました。新型インフルエンザの流行もあってのびのびになっていただけに病気でこれない人を除き殆ど全員集まりました。

いつまでもお元気な浅野先生を囲んで、我々十四名も近況を語りあったり、特に末吉君には箕面自由学園についての現況を詳しく話してもらって昔を偲び懐かしみました。

不思議なもので同級生が集まると同じように歳を取っているせいか喜寿前のお年寄りが集まっているとはだれも思わないうで、時間の経つのも忘れ昔話に興じました。

「クラス会同じ葉を五人飲み」なんて川柳がありますが、葉の必要なのは私だけのようで、みなさんは「メシうまくスタスタ歩ける今が華」という感じで、来年の再会を約して箕面の山を後にしました。

京都で古希に集う

高五回 二六期 永松道晴

卒業以来半世紀以上過ぎて、その間日本は東京オリンピックと万博から高度成長の軌道に乗って繁栄を謳歌する一方、オイルショック、ニクソンショック、神戸の震災、リーマンショックと問題もありませんながら、それぞれ無事古希にたどり着きました。その節目を迎え、少し趣向を変えた楽しい会にして喜寿・傘寿さては米寿に向かう出発点にしようかとのアイデアで京都一泊旅行を企画しまし

た。参加者は名簿上五六人の内、男子八名、女子十一名、合計十九名でした。

十一月二十九日(日) 昼前に京都駅に集合、祇園・白川沿いの京町家を改造したお茶屋ダイニングレストラン「かにかくに」でフレンチ風京料理をいただき、久しぶりに会った懐かしさで一同昔の話に花が咲きました。町の真ん中でありながら、疎水から流れる白川の滑流にもみじとサクラの紅葉が映えて、五位サギがお出迎え。今回は海外在住の二人がシドニーとロスアンゼルスから参加して、久々に京都の雰囲気を楽しんでおられました。

昼食後、祇園・花見小路から八坂神社を経て高台寺に向かって散策。喧騒を避けて六波羅蜜寺を訪れました。ここには空也上人が念仏を唱える口から六体の阿弥陀が出ている有名な立像があります。そして平安末期権勢を誇った平家の広大なエステートのあった跡です。その後四条大



26期生

宮からレトロな嵐電に乗って太秦まで。広隆寺境内を抜けて今晚の宿・菊香荘にチェックインしました。この旅館は東映映画撮影所正門前にあって主に映画・テレビの撮影に来る俳優さんや撮影スタッフの定宿です。旅館の心づくしの料理を頂いて、お孫さんのこと、仕事を卒業してから始めた趣味やボランティアのこと、まだ止められない仕事のこと、海外から見た今の日本、そして病氣と健康問題などなど、六時から十時過ぎまで一同話は尽きませんでした。

翌朝三十日も心地よい晴天、先ず隣の広隆寺に参詣、国宝第一号の弥勒菩薩像を拝見してから、東映映画村のぞきました。大岡越前ちゃんばら劇を見てから日本橋を背景に記念写真を撮って、再び嵐電に乗って今回の最終目的地嵐山に。極楽殿熊谷山法然寺では参加者の一人が自分の旧姓と同じというので、本殿に上がった住職の源平をめぐる歴史物語を伺うこととなりました。法然寺は源平合戦で有名な源氏の武将で後に法然上人の法灯を次いだ熊谷次郎直実が建立した由緒ある寺で、その紋は彼が源頼朝から拝領した「向かい鳩」、なんとその参加者の先祖の家系と判りました。熊谷直実は源氏でありながら平家に仕え、又寝返って

源氏の武将として平教盛を須磨の海岸で討ち取り、稀有な人生行路を歩んだ人物。話を聞いているうちに、自民党から流れ流れて今や政権与党・民主党の実質トップであるO氏の軌跡と重なって我にかえりました。偶然が重なって昨日は平家、今日は源氏、日本の歴史の断面を歩く「おまけ」の付いた面白い同窓会となりました。

京都最後のメは当然お豆腐、天竜寺裏の閑静な嵯峨野で亀山天皇御陵の丘を背景に竹林と紅葉が午後の太陽に輝く景色を見ながら、一同時間を惜しみながら愉快な語り、次の同窓会はカニと温泉だ、と勝手な結論をもって無事お開きとなりました。

五十年もタイムスリップ

高十回 三期 佐々木(八木)徳子

日が経つに従って、じんわりと温かさが胸に広がって来るクラス会での逢瀬…。

高校入学から五十年の節目として四月四日・五日と一泊二日で篠山アルパインローズに集まりました。男性五名(池田・素木・竹田・浜中・松山・吉田)女性四名(旧姓で伊藤・小阪・神保・八木)と少なかつたので、プチクラス会と言っても過言ではないと思いますが、勝手に五十年間タイムスリップして、あの日のあの時を語ることは人数など関係無し!!騒がしい・姦しい・大声で、全員が高校一年になっていました。

今回も音頭を取ってくれたのは池田夫妻、そしてアルパインローズの関係者一年上の伊藤先輩と素木君にお世話になりました。

学園の特徴は、一年上や下はまるで同期のように接する事が出来る良きで、伊藤先輩も引っぱり込んで、カラオケに興じました。

次回は三年後、高校卒業して五十年目に開催する予定だそうです。万難を排して集まりましょう!その日の為に体力・気力を養っておきましょう!

篠山路 春らんまん

高十回 三期 竹田 健次

「回り道やけど」。宿舎「アルパインローズ・ビレッジ」へ向う途中、伊藤隆夫先輩に案内された篠山川の堤は、桜並木がほぼ満開。同乗の佐々木美津子さん、佐々木徳子さんが思わず感嘆の声でお心遣いに感謝する。

四月四日、夕食の席に全員集合。女性四人、男性六人。三期生の同窓会が始まった。参加者が少ないのは月曜日だったためと幹事の池廣夫妻は恐縮するが、なんの、ご夫妻の長年の御助力があればこそ。この年になれば色々あって、佐々木徳



31期生

子さんはカラオケ終了まで精一杯残られ、名残惜しみながら法事のため帰途につかれた。この先、家族の介護で参加が難しくなる人も増えそう。話題は学園、教育論。普通ならば白けるが学園にほぼ愛着のある人ばかり。それに吉田忍校長の存在が大きい。何の気負いももらいもなく人の輪の中で自然体なのは、教育者としての彼のすごさかな、と思う。

カラオケが始まると、陰で舞台を回してくれる素木君がライトに映える。彼の「ヨードル」はうま過ぎる。盛り上がり過ぎてさらに一室に集まり旧友らの思い出話に花が咲く。たぶん鬼籍に入られた友も含めて洩れた人はいなかったはず。時折、浜中くんは十数年ぶり参加の僕にそっと情報してくれる。そして達者な池廣、豪傑の松山両君の愉快な掛け合いにどどと沸く。他の宿泊者の手前、野田和枝さんが手を広げ抑えにかかる。とつづくに〇時は過ぎた。また歓声が沸くと指一本を唇にあてて佐々木美津子さんは「しいっ!」。もう誰も彼もが学園時代だ。笑い過ぎてうっかり中身を忘れてしまったのが残念!翌日は池廣、浜中両君の車に分乗、お菓子の里、小山ロール、「あかいうちわ」という大男で珍妙な親子がいる食事処を巡る。どこに行ってもさくらさくら、春らんまんも真ん中。ちよつぱり青春の日のほろ苦さも思い出させる篠山路でした。

塚本先生の喜寿お祝い

三期 京極 雅子

二〇〇九年九月二十五日、箕面山荘にて塚本先生の喜寿のお祝いを我々三期で行いました。還暦のお祝いをして以来十七年振りです。先生は相変わらずお元気で、とても若く、生徒の方が老けて見える位です。卒業以来五十年近く経ちましたが、初めて泊まりでの集いでした。美味しい夕食を頂きながらのお祝いの宴となりました。その後は部屋に戻って、大阪平野の綺麗な夜景を見ながら、遅くまでワイワイと。あどけなかった男の子、女の子が今やすうっかりおっさんとおばさん。でも一瞬にして皆同時に帰っています。我々同期は中学の時、一クラスだけのたった二六人。ハイキングやキャンプの何をするのも全員一緒、まるで山村の分校の様でした。塚本先生にとっても初めての担任生徒だった為、ひたひたの思い出で三年間指導していただいたのでしよう。次は先生の傘寿祝い。さらに、多くの人達も参加して、お祝いしましょう。



さくら組 有馬で親睦

三期 菅田 耕治

私たちは昭和三五年（一九六〇年）小学校卒のさくら組です。平成十一年（一九九九年）四月に卒後四十年目の節目に集まったのを機に集



34期生

まっています。最初は三年置きだったのですが京都での出会いを機に二年置きとなり、四回目になりました。その折にクラス名にちなみ学園坂上で桜の植をしたことは前回レポートさせていただきました。今回から幹事（菅田・村上・川口・辻）に新しく大塩恭生君、廣瀬朋三君が加わり、新メンバー幹事で昨年五月十六日に有馬温泉月光園での一泊同窓会となりました。参加してくれた平松君には関西学院学長を退任されたばかりで超多忙にもかかわらず、宴会前に「出会いによって生かされた日々」との演題で特別講座をお願いし、これまでの人生をしみじみと語っていただきました。

翌朝、神戸へ廻り神戸まつりを横目にお茶をするつもりが突然の新型インフルエンザ騒動となり、名残約つきませんでしたがまた2年後を約して有馬を後にしました。今年も東京から奥田（木村）良子さん、栗栖（田中）俊子さんに遠路はるばる参加いただきました。

久しぶりのめぐりあいと温泉三昧にゆつくりと楽しいひと時を過ごしました。

三十路を迎えて盛り上がる
高等科教諭（第六七期）田中友美子
第六七期 高等科特進一期生（四



「なつかしいなあ」「いすがちいさいなあ」「せんせい！ぼくをおぼえている？」忘れるはずがありません。たった四か月前までこの幼稚園で遊び、笑い、給食を食べ、生活していたのですから。そう、今日は一年生の同窓会です。

元気なあの子、笑顔の素敵なこの子、何でも頑張っていた彼女、おしゃべりが止まらない彼、久しぶりに幼稚園で再会すると、途端に園児の頃に帰って、会話が

おかえりー卒業生の皆さん

教頭 高野 俊子

六回生）同窓会がゴールデンウィーク中に行なわれました。実は私が四年前に本校で教鞭をとるようになり、二年前にちょうど卒業十周年ということで、特進一期生の理系山下君を幹事に連絡のつくメンバーが約三十名集まりました。その時には、十組の担任をしてくださった町矢先生と一・二年の担任で三年間英語でもお世話になった後藤先生が来てくださり、一・二次会とも大人数で昔話に花が咲きました。今回も山下君、石原君が主催となり、二年前よりも少し人数は減りましたが、二十名程が集まり、三年間国語を担当して下さった山西先生が参加して下さりました。今年三十路を迎える私たちは結婚や出産の話で盛り上がったように思います。次も数年後に・・・吉田先生や米田先生、浅田先生などにも参加してもらいたいなど、また山下君が企画してくれることを楽しみにしています。是非、この記事を読んだらご連絡下さい。

高三 田中優子さん

国際ピアノ・コンクール 世界第二位



弾みます。

青木園長先生の「しっかりと話を聞いてしっかりと考えられる子どもになって卒業しましたよ。これからも頑張ってください」、長田前園長先生の「サッカーのワールドカップの日本代表のように、懸命に取り組み姿には感動します」、そして一年生の様子を見に来られた学園同窓会の佐々木忠事務局長様のお話を、大きな瞳で一生懸命聞いていました。

一年生は小学校ごと自己紹介をし、勉強、なわとびなど、今頑張っていることをみんなの前で発表しました。

その後、中庭のプールで、旧クラスごとに元担任の先生と大いに遊んだり、同窓会からのおやつをいただいたり、楽しいひとときを過ごしました。お世話になった小滝・長井・今井先生もお越しください、一年生の成長ぶりを喜んでおられました。年長組の二期期に転園したお友達も遠く滋賀県から参加してくださいました。

五年生の八月にも同窓会を行ないます。更に立派に成長した皆さんに会えることを今から楽しみにしています。

三年に一度、若い才能が競う、青少年シヨパン国際ピアノ・コンクールがシヨパン生誕二〇〇周年の今年二月ポロランドで開催されました。コンクールのカテゴリーは三つに分かれ、第三カテゴリーは十八歳以下の部門。予選・本選が連日行なわれる厳しいスケジュールを乗り越え、本校三年生の田中優子さんがこの部門で世界第二位に輝きました。

このコンクールで田中さんが開花したのは、日本のシヨパンコンクールでの失敗が逆に強みとなったという。日本では譜面通りにミスなく弾くことを求められるのに対し、世界ではもっと自由に、個性を大切にするのが評価の基準。異文化の物の考え方の違いに触れるよい経験をされました。

田中さんは、三歳の頃から母親より手ほどきを受け、ポロランドに住んでいた先生に教わっています。このような大舞台で活躍している田中さんですが、インタビューをお願すると大変な恥ずかしがりやで、「私なんて・・・」と恐縮するばかり。日々高校三年生が受験勉強をするようにピアノ

のレッスンを励んでいるにも関わらず、「今回はたまたまいいものが出ただけです。私なんてまだまだ。もっと練習が必要ですよ」と謙虚な姿勢。「もっと技術を磨いて、様々なコンクールに出たい。次の大きな目標としては五年後の大人のシヨパンコンクールです」と語ってくれました。将来国際的なピアニストとしての活躍が期待されます。

演奏作品
予選 《ノクターン 作品27-2》
《エチュード 作品10-10》
《同作品25-11》
本選 《三つのマズルカ 作品63》
《スケルツォ 第2番》
（高校教諭 第六七期 田中友美子）

高校

進学・スポーツ がんばる学園

高等学校校長 吉田 忍(三期)

公立の無償化や橋下府政の影響で私学には心配された逆風でしたが本校では今年度、予想を遙かに超える四五〇名の新入生を迎えることが出来ました。これも偏に同窓生のいっも変わらぬご支援・ご協力の賜であると深く感謝申し上げます。

高等科では昨年来、準備しておりました学校改革の移行元年として勉学とクラブ活動の更なる活性化に取り組んでいます。

新一年生より京大、阪大、神大などを目指すスーパー特進コースの設置等コースの改変、習熟度クラスの実施、クラブ練習最終時間(十八時)の厳守、補習の二部制(十六時~十七時半とクラブ参加者用十八時半~二十時)など、学習環境の改善

をおこないました。二・三年生では従来の補習に加え、自習室の利用を強く勧め、教員及び大学生チューターによる完全な管理を行い、自習の習慣を付け、家庭学習につなげ、本当の学力の習得を狙います。校長室隣の自習室では多くの二年生・三年生が毎日、最終時間(十九時十五分)まで鉛筆を走らせている姿があります。

クラブ活動では六月に入り、ここ一ヶ月で大きな大会が数多く開かれました。放送部ではNHK杯大阪大会で総合優勝し、部門では三部門優勝、四部門大阪代表となり全国大会に出場します。練習時間が延びた強化クラブ(二十時半完全下校)の活躍もめざましくアメリカカンファット

ボール部は大阪府大会で大産大付高の五連覇を阻んで十七年ぶり三度目の優勝を飾りました。関西大会では関学高に一步及ばず準優勝となりましたが、秋の全国大会では十九年ぶりの優勝を目指します。チアリーダー部は関西大会では宿敵梅花高を破り優勝しました。この夏には、日本選手権大会ジャパンカップ十連覇に挑みました。女子バレーボール部は順当に勝ち進み近畿大会に出場、全国を目指します。吹奏楽部も地区シードとして大阪大会に臨み関西大会から全国大会出場を目指して猛練習を行っています。新しく強化クラブとなった男子バスケットボール部は大阪総体を目指し、一年生部員の強化に夏休みを賭けます。

生徒達が自分の持ち味を生かし、今を最高に生きている姿はまぶしい限りです。全生徒が学校目標である「文武両道」のもと、「頑張る学校」を目指したいと思えます。

これからの教科学習システム改革の成果は、子どもたちの学力向上の実際と進路面で顕著に現れ始めました。まず学力面の変容ですが、定期的

主な大学合格実績 (過去3年間)

Table with columns: 大学名, 入試年(平成) 20年, 21年, 22年. Rows include 関関同立, 関西学院大, 関西大, 同志社大, 立命館大, 産近甲龍, 京都産業大, 近畿大, 甲南大, 龍谷大.

国立大学合格実績

平成22年度 8名

京都工芸繊維大(1) 京都府立大(1) 兵庫県立大(1) 千葉大(1) 鳥取大(1) 高知大(1) 徳島大(1) 琉球大(1)

平成21年度 10名

大阪大(2) 大阪教育大(1) 京都工芸繊維大(1) 京都府立大(2) 兵庫県立大(3) 静岡大(1)

平成20年度 11名

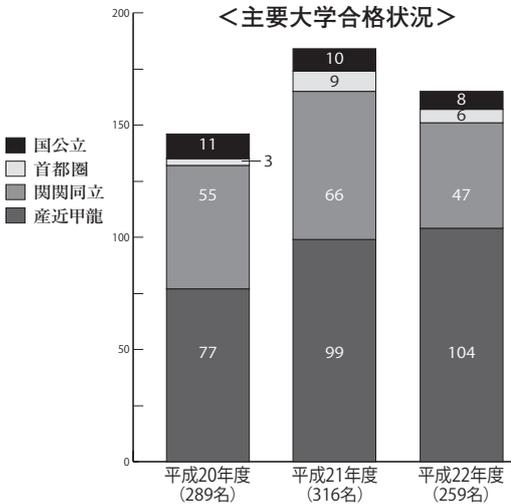
大阪教育大(3) 大阪市立大(2) 大阪府立大(1) 京都市立芸術大(2) 鳥根大(1) 広島大(1) 高知大(1) (他に防衛大学校1)

平成22年度その他の大学合格実績

首都圏難関大学 6名

明治大(1) 東京農業大(5)

<主要大学合格状況>



今春の主要大学合格者実績は、259名と少ない卒業学年でしたが、国立大学に8名(全員現役生)、関関同立47名(うち現役40名)、産近甲龍104名(うち現役95名)の結果になりました。

中学校

中学校教育改革の成果と課題

中学校校長 小川 義人

子どもたち一人ひとりの希望や目標が、子どもたち自身の努力で実現できる道を切り拓くことが可能となるように、その条件となる学力の充実を図るために、中学校教育の改革を展開して参りました。

この三年間で実施しました「チューター特別講習」と「習熟度別クラス編成」はほぼ軌道に乗り、それに先行して導入しておりました、毎日の「早朝テスト」とフォロアアップタイムでの補習との連携も、今では確かな効果を発揮するようになってい

ます。これらの教科学習システム改革の成果は、子どもたちの学力向上の実際と進路面で顕著に現れ始めました。

まず学力面の変容ですが、定期的実施しております外部模試の今年六月分の結果を、現三年生について二年生時との比較分析をいたしました。今回が総合偏差値平均四九、昨年度最終分が平均四五ですので、その差四ポイントの向上と評価することが可能です。しかも、その内実は、英・数・国・理・社の五教科全てでプラスポイントの向上き方向にあることも重要な点です。特色の英語につきましても、アドバンスクラスで六十、ベーシッククラスで四四と、各目標を達成いたしました。

また、改革後の入学生徒数は徐々に増加し、今年度は五二名の一年生を迎えることができ、全校生徒数一四一名でスタートしました。この生徒数は、四年前の改革前年度に比して、およそ二・五倍となります。なかでも、中学校への評価は学園初等

◆中学校卒業生合格実績◆

本年三月に中学校を卒業した生徒の合格実績は次のとおり。

- 大阪府下公立: 池田高校(三名), 桜塚高校(一名), 千里青雲高校(一名), 川西緑台高校(一名), 伊丹北高校(一名), 高知海洋高校(一名)
その他公立: 清風(一名), 関大北陽(一名), 桃山学院(一名), 関西大倉(一名), 向陽台(一名), 大阪学院(一名), 追手門学院(一名), 大商学園(一名)
S特進: 三名
特進: 四名
総合: 十九名
クラブ推薦: 三名

小学校

「自信や満足感を味わった」臨海学校

小学校教頭 井上 健二

今年も京都府網野町浜詰の夕日ヶ浦温泉海水浴場にて、七月十九日から二一日まで臨海学校を実施しました。宿舎では、四年生と五年生が縦割りの班で共同生活を送りました。

また、浜ではプールで練習してきた平泳ぎの遠泳実習を、自然の海で挑戦しました。今年も、天候にも恵まれ全ての活動が計画通り実施することができました。二泊三日の子どもの活動の様子をお知らせします。

第一日目は、学校を八時に出発してほぼ予定時刻に夕日ヶ浦温泉海水浴場に到着しました。初日から水温二八度という、夏の暑い日差しの中で練習を行いました。浜に沿って張られた五十メートルコースロープを使い、

泳力班十班に分かれて練習を行いました。合間の休憩では、砂遊びをしたり砂の造形をしたりして楽しみました。

二日目の午後は五年生の遠泳記録会が行われました。昨年度は天候が悪く記録会ができなかったため、子どもたちにとっては今年が初めてとなりました。今年も二〇〇メートル完泳者が六十名中二十七名と素晴らしい成果をあげました。残念ながら二〇〇

メートル泳ぎきれなかった子どもたちも、規定の一〇〇分間を力の限り頑張りました。泳ぎ終えた子どもたちの中には、自力で歩くことができないくらい全力を出し切り、疲れ果てた状態で浜に戻ってきた子どももいましたが、

顔は笑顔いっぱい達成感と満足感に満ちあふれていました。四年生は、砂の造形と砂遊びで楽しみました。そして、夜は花火をしたり沖の漁り火を見たりして楽しい一時を過ごしました。

三日目は、四年生の遠泳記録会がありました。目標の一〇〇メートルに向けて一生懸命頑張りました。一〇〇メートルの完泳者は、六六名中三十六名と五年生に引き続いて好成績をあげました。その他の子どもたちもプールでの練習の成果を充分発揮することができました。

この臨海学校では、遠泳記録会で泳ぎ切った自信や満足感を味わったり、波と遊んで心地よさを味わったりしました。子どもたちは自然体験を通して、自然の美しさを発見したり、畏敬の念を抱いたりするなどの感動体験もしました。さらに、子どもたち同士、あるいは教師と子どもが長い時間を共に過ごし、お互いを認め合い発見し合う機会を得ることが

によって、ふれあいが高まり友だちの輪を広げたり、改善を図ったりすることができるようになりました。そして、互いを思いやり共に協力して生活することにより、規律、責任、思いやり、礼儀やマナーなど「集団の一員としての望ましい態度」も培われた宿泊行事になったと思います。

◆小学校卒業生合格実績◆

本年三月に小学校を卒業した児童の合格実績は次のとおり。

《共学校》

- 履正社学園豊中 二名
- 開明 二名
- 金蘭千里 五名
- 関西大倉 二名
- 大阪産業大学附属 一名
- 近畿大学附属 一名
- 関西大学中部 一名

- 追手門学院大手前 二名
- 帝塚山学院 一名
- 仁川学院 一名
- 雲雀丘学園 一名
- 立命館 一名
- 岡山 一名
- 《男子校》
- 大阪星光学園 一名
- 明星 一名
- 清風 二名
- 六甲 一名
- 報徳 一名
- 函館ラサール 一名
- 《女子校》
- 梅花 一名
- 大阪女学院 二名
- 金蘭会 一名

幼稚園

子ども達の「やる気」を育てる

―目標を持つと伸びる―

幼稚園長 青木 和男

学園全体として通園通学している子ども達に対する共通目標は、「元氣・勇気・笑顔」を大切にしながら躰の徹底としています。挨拶・身だしなみ・規範の高揚などが、その具体的なことでしょうか。

さて、そのような大目標を前提として、今年も「感動体験」を大切にする本園の教育活動が多くの方々の支援を受け、豊かな環境の中で始まりました。

国際化する未来社会に生きる子ども達。変り行く地球環境を受け入れながら生き抜いていく子ども達。常に、目の前にいる幼い子ども達の未

来社会を視野に入れ、今、何を体験させ、どんな力を身につけることが大切なのかを意識しながら、日々の活動を進めなければなりません。

「誕生会」というお祝いの機会を大切にしながら感動体験の数々を進めています。アンデスの『folklore』民族音楽・フィリピン民族舞踊バンブーダンス・マリンバや金管楽器の生演奏・人形劇など子ども達の心を揺さぶる楽しい体験です。

また、農園や果樹園での作物の成長の観察や収穫も貴重な経験です。果樹園の木々も花が咲き、実を結ぶ

準備を始めています。成長の過程を五感を通じて味わうことは、なんて素晴らしいことでしょうか。今年、バジルやスペアミントなどのハーブの植え付けも行いました。まもなく園内のハーブガーデンから素敵な香りが漂うことでしょうか。

子ども達のこのような体験や経験をを通して、きっと心の中に豊かな世界観や自然観の芽が育っていくことでしょうか。

更に、子ども達には、このような心の豊かさとともにいろいろなことにチャレンジする気力（やる気）とたくましさの育ちが必要でしょう。では、自ら挑戦する意欲を持った子どもに育てるにはどのようなことに心がけたらいいのでしょうか。

それは、「努力すれば自分にもできる」という成功可能な目標を具体的に提示することと「できた喜び・達成感」を味わわせることです。園

庭の遊具（のぼり棒や雲梯）に色テープで目印を付けました。子ども達の心を揺さぶる大きな目印です。昨日は、赤印までできました。今日はもう一つ先までチャレンジしよう。子ども達は、がんばればできるかもしれないという目標ができるワクワクドキドキしながら、自分の力を伸ばそうと自然にチャレンジを始めます。不思議なことですね。

そして、できた時・成功した時は、誰かに見て欲しい・認めて欲しいと瞳を輝かせて報告します。この時こそ「やる気」の芽を育てる絶好のチャンスです。「すごいね」「よくがんばったね」の言葉と笑顔が次の意欲へとつながっていきます。

このことは、日々生活の中にいっぱいあるでしょう。子どもに対する願いはあっても一足飛びに高望みしては、育つ力も育ちません。それぞれの子どもにあったスマイルステ

ップの目標を見極めながら、大人も子どもが一生懸命がんばっている様子を楽しみながらサポートすることでしょう。その先には、自主・自立という二文字が見えてくるような気がします。

幼い子ども達の話としてだけでなく、学園の児童・生徒に通じることではないでしょうか。「やる気」「意欲」は「成功可能な具体的目標と賞賛の言葉」です。これらを子育て・教育のキーワードにして、ともに子ども達の成長を楽しみましょう。



近況報告

親子二代のQB

高校教諭アガシントホル顧問 富田 秀司

第四十回関西高等学校アメリカンフットボール選手権大会を準備優勝に導いたのが、主将であり、QBの前田寛二(三年)。父親の正久さんは、幼・小・中・高(五十期)箕面自由学園で学び、フットボールは中学から始め、高校では三年間大阪府高校選抜に選出され、大阪体育大学進学後も当時無敵を誇っていた関西学院大学を破り西日本学生選手権で優勝するなど活躍していた。

寛二は一卵性双生児で弟、兄の龍二は中学から少年フットボールチームファイティングビー(監督は本校OBの三井啓史さん)でプレイし高校日本一を目指し関西学院高に進学。寛二は渋谷中では、野球部に所属し大阪中学校野球中央大会でエースとしてチームを優勝に導く原動力となり、甲子園の常連高校からも、オファアが来るようになった。当然高校でも野球を続けようと思ったが、神様のいたずらで箕面自由で父親と同じフットボールをすることに。前田家のNO,FOOTBALL NO,LIFEの生活が始まりました。家に帰ると、ビデオを四人(母親の清美さんは撮影担当)で見、フットボール



談義。オフの日は、近くの公園で正久さん指導の元、パスの練習。またガレージでのウエイントレニングや箕面の滝まで

ランニングするなど、兄弟二人で常に高い目標に向かって切磋琢磨してきた。

こんな二人の対決が春の関西大会決勝で実現し、逆転につぐ逆転の結果、軍配は兄龍二の関西学院に拵がった。冬のクリスマスボウルを目指して、二人の戦いは続いている。

「まさか、入学した時はこんな事になるとは夢にも思いませんでした。」という正久さんですが、二人の双子対決を一番喜んでいたので、西から一校。東京ドームで行けるのは関クリスマスボウルへ行くの感動を選手に経験させたく、毎年試合に臨んでいきます。今年も九月五日V.S.関大一高から熱戦が始まります。

「スタンドを赤く染めよう」をキヤッチフレーズに、吹奏楽部、チアリーダー部を中心に箕面自由が一つになった時、クリスマスボウルのフィールドにゴールデンベアーズの戦士達が立っているのではないのでしょうか。応援をよろしくお願いします。

瀬古姉弟が

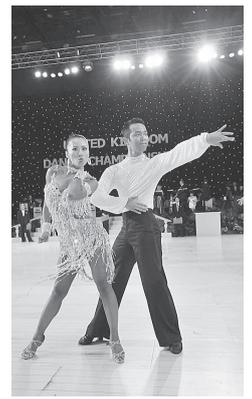
社交ダンスを披露

高校教諭 七一期 高橋 豪

六月二六日桂門ホールで行われたPTA講演会で日本のラテンダンスのトップクラスである瀬古薫希(せこまさき)・知愛(ちあき) 姉弟が、社交ダンスの演技を披露した。

Cha Cha Cha, Latin Dance, Rumbaと三つのプログラムを行い、切れのよいステップ、緩急がある動きで会場を魅了した。

瀬古薫希は本校の高等科の卒業生である。ダンス教師の両親の影響を受け、六歳からクラシックバレエを始め、十歳で社交ダンスを始めた。



高校二年生で大阪に移り住み、本校に入学した。高等科の吉田校長は、彼の転入試験を担当したが、当時から非常に優秀な生徒だったと言われていた。

本校卒業後、二年間は大阪を拠点に社交ダンスを行い、現在は東京を中心に活躍している。二〇〇〇年二〇〇六年全日本アマチュアダンス選手権ラテン優勝、二〇〇一年二〇〇七年三笠宮杯ダンススポーツ選手権大会ラテン優勝、二〇〇七年世界十ダンス選手権六位など輝かしい成績を収めてきた。

彼は十六歳の頃、三重県から大阪に移り住んだが、大阪は物凄く悪そうなイメージがあったという。しかし実際に住んでみると、明るい人が多いと感じた。想像していた以上に住み心地が良い場所だったそうだ。本校で最も印象に残っていることは、運動会のフォークダンスである。チアリーダー部と振り付けを考え、クラス全員で踊ったダンスは特別な思い出だ。彼の人生のなかでも、本校で過ごした時間はとても充実していたと感じているようだ。

「僕は今後も人に感動を与える演技をしていきたい。今の自分出来る最大限の演技をするので、箕面自由学園の皆さんにも今しかできないことを一所懸命してください」という熱いメッセージを残し、東京へ帰っていった。今後の予定としては、ジャパンオープンダンス選手権(九月)、統一全日本ダンス選手権大会(十一月)だ。次回も本校で演技を披露してもらえらる日を楽しみにしている。

平成22年度予算

自平成22年4月1日～至平成23年3月31日

収入の部 (単位 円)			
科目	22年度予算額	21年度予算額	前年度との差異
入会金	4,200,000	3,800,000	400,000
年会費	350,000	300,000	50,000
終身会費	1,000,000	1,500,000	△500,000
受取利息	950,000	830,000	120,000
寄付金収入	0	0	0
雑収入	0	0	0
前期末未収入金	0	0	0
合計	6,500,000	6,430,000	70,000
前年度繰越金	7,756,255	6,766,691	989,564
収入計	14,256,255	13,196,691	1,059,564

支出の部 (単位 円)			
科目	22年度予算額	21年度予算額	前年度との差異
総会事業費	200,000	200,000	0
事務局運営費(給与)	994,000	970,000	24,000
事務消耗品費	130,000	80,000	50,000
旅費交通費	115,000	120,000	△5,000
什器備品費	160,000	135,000	25,000
通信費	1,250,000	1,290,000	△40,000
印刷費	500,000	1,030,000	△530,000
課外活動報奨費	850,000	850,000	0
渉外費	630,000	555,000	75,000
会議費	30,000	35,000	△5,000
慶弔費	15,000	15,000	0
支払手数料	60,000	45,000	15,000
雑費	3,000	5,000	△2,000
租税公課	7,000	5,000	2,000
寄付金支出	0	0	0
仮払金	0	0	0
未払金	0	0	0
予備費	100,000	100,000	0
合計	5,044,000	5,435,000	△391,000
基金支出	1,000,000	2,000,000	△1,000,000
次年度繰越金	8,212,255	5,761,691	2,450,564
支出計	14,256,255	13,196,691	1,059,564

平成21年度決算

自平成21年4月1日～至平成22年3月31日

収入の部 (単位 円)			
科目	予算額	決算額	差異
入会金	3,800,000	3,800,000	800,000
年会費	300,000	322,005	22,005
終身会費	1,500,000	1,080,000	△420,000
受取利息	830,000	970,395	140,395
寄付金収入	0	44,260	44,260
雑収入	0	93,000	93,000
前期末未収入金	0	0	0
収入合計	6,430,000	6,389,660	△40,340

支出の部 (単位 円)			
科目	予算額	決算額	差異
総会事業費	200,000	143,650	△56,350
事務局運営費(給与)	970,000	934,206	△35,794
事務消耗品費	80,000	34,412	△45,588
旅費交通費	120,000	120,530	530
什器備品費	135,000	36,840	△98,160
通信費	1,290,000	1,218,554	△71,446
印刷費	1,030,000	453,288	△576,712
課外活動報奨費	850,000	719,000	△131,000
渉外費	555,000	550,885	△4,115
会議費	35,000	121,762	86,762
慶弔費	15,000	0	△15,000
支払手数料	45,000	60,030	15,030
雑費	5,000	0	△5,000
租税公課	5,000	6,939	1,939
寄付金支出	0	0	0
仮払金	0	0	0
未払金	0	0	0
予備費	100,000	0	△100,000
支出合計	5,435,000	4,400,096	△1,034,904
収支差額	995,000	1,989,564	994,564
差引合計	6,430,000	6,389,660	△40,340

総括表			
	予算	決算	差異
前年度繰越金	6,766,691	6,766,691	0
当期収入	6,430,000	6,389,660	40,340
当期支出	5,435,000	4,400,096	1,034,904
基金支出	2,000,000	1,000,000	1,000,000
次年度繰越金額	5,761,691	7,756,255	-1,994,564

母校で教えます

アメフトで人間力を磨きます

七二期 歳内 直人



教科指導、生徒指導とともに私が全力で取り組むたいは、クラブ指導です。

私は現在アメリカンフットボール部の顧問として、母校のクラブを指導できることを大変嬉しく思い、日々指導に当たっています。

そこで私の目標は、ただ指導するだけではなく、やるからには日本一を目指して指導してゆくことです。私自身も部長と同様、日本一のチームを率いる指導者として、必要なスキルを習得できるように日々精進していこうと考えています。加えて、部員にはプレーヤーとしての力量だけではなく、人としての礼儀やマナーといった「人間力」も磨くように指導をしています。「アメフトがうまければ何でもい」といった考え方はなく、箕面自由学園の生徒には、フィールドでプレーする時も、そしてフィールドから離れた時も「一流」であってほしいと願いつつ、微力ながら頑張っています。

恩師より一言

高校教諭アメフト部顧問 富田 秀司

甲南大学を卒業後、体育教師になりたいと強い希望のもと、大阪大谷大学に編入し、体育の教員免許状を取得し、母校へ帰ってくることでできました。私も母校で三七年目を迎え終わりが見えています。新しいGOLDEN BEARSを築く後継者だと思っていますので、マイペースに一歩ずつ頑張ってください。

座右の銘は、ライバルは自分

七三期 北 萌



二〇一〇年四月、私は初等科教員として箕面自由学園に赴任してきました。着任式で学園歌

の「この丘に」を歌い始めた時、五年ぶりにこの学園に戻ったことへの喜びで胸に込み上げる思いがありました。

高等科では、チアリーダー部に所属し、三年間クラブ活動に励みまし。富田先生や野田コーチの指導のもとに、辛い事もありましたが、仲間や家族に支えられ、頑張り続けられたことが私の大きな財産になっています。

野田コーチはいつも「ライバルは自分!!」とおっしゃっていました。その言葉は、教員になる夢を実現させるために頑張っている時や、今教員として学んでいる時や、いつも心の大きな支えになっています。

自分に勝つことで、人生を切り拓いていけると信じ、二度目の学園生活を日々精進し頑張っています。

恩師より一言

チアリーディング部コーチ 野田 一江

チアリーディング部に所属していた北先生は熱心な生徒でした。一つの動きをマスターするのに時間のかかる不器用なタイプでしたが、諦めずこつこつといつも明るく前向きに取り組んでいました。数々の問題を皆で話し合い解決し、信頼関係を築いてきたことは、これからの職員生活に必ず活かされることだと思います!

出合えてよかったと言われた

七六期 渡部 美穂子



小学一年生からの夢が叶い、念願の幼稚園教諭になった今、毎日可愛い子どもたちに元気をもらっています。

つい三年前まで、箕面自由学園の高校で、汗をいっぱい流しながら部活動に取り組んでいました。その私が今、同じ敷地内で幼稚園教諭をしていることが不思議に思えます。当時の顧問の先生は、厳しい言葉の中にも生徒を思いやる温かさが感じられとても尊敬しています。

私は現在、三歳児の担任をしています。子どもたちが元気いっぱい笑顔で登園し、「せんせい、だいちゆき」という一言は、疲れを忘れるくらい嬉しく、私を笑顔にしてくれます。また、日々子どもと園生活を送る中で、子どもたちだからこそもっている素直な気持ちに気付かされています。そんな子どもたちが恵まれた環境のもと、常にいきいきとした表情で、今だからこそできる様々な体験や発見、感動を味わってほしいと思うと同時に、私の恩師のように出合えてよかったと思われようかな先生になれるよう頑張っています。

恩師より一言

高校教諭バレー部顧問 峯崎 晃男

渡部先生は高校時代はバレーボール部に所属し、学業も優秀で三年間充実した生活を送られたと思います。チームメイトの大半は小学校から競技を始めているにもかかわらず、渡部先生はバレーボール初心者でした。コートに立つチャンスなかなかか掴めないながらも三年間立派に努力を継続しました。高校時代の学園

子どもたちが大好き!

七六期 西村 紗也加



私が将来の夢を思い始めたのは、箕面自由学園幼稚園の先生方との出会いからでした。

ろん卒園のアルバムには、将来の夢として「幼稚園の先生」と大きく書いてあり、その頃から私の心の中で少しずつふくらみ始めました。大学を卒業後、母校で幼稚園の先生になり夢が現実となりました。実際に幼稚園で仕事をさせて頂き、私が園生活を送らせて頂いた時には気付いていなかった毎日の保育の難しさ大変さと、中途半端な気持ちでこれからは大きな夢と漣を持って飛び立つ子どもを教育していくことはできないというのを改めて実感しました。そして、今は、毎日の保育の中で悩んだり考えたりしながら子どもと正面から向き合い子どもと共に学び、成長していきたいと思っています。卒業した母校で幼稚園の先生として仕事ができることを嬉しく幸せに思い、一番大切にしなければならぬ「子どもが大好き」という気持ちを忘れずに笑顔と元気で頑張りたいと思います。

恩師より一言

幼稚園主事 嶋 弓賀

年少組七十人という初めての大会の人数で迎えた子どもたちの中の一入が西村紗也加さんです。幼稚園の頃は、目をクリクリさせ、何事も真面目に取り組みおとなしい感じの子どもの印象でした。「将来、幼稚園の先生になりたい!」という夢を持ち続け、大学生になって学園

に実習に来た時には、子どもたちの前で素敵な笑顔で、ハキハキ言葉を話し、幼い頃の目標に向かって一生懸命頑張っている姿を嬉しく思いました。

同じ職場で仕事をする事になり、希望をもって前向きに子どもにも向き合っている西村紗也加さんのエネルギーを眩しく感じています。新鮮な気持ちで大切に、子どもたちといろんな体験を通して、成長されることを感じながら、共に精進していきたいと思えます。

浅野平家物語終了

平成十年四月から始まった浅野進平先生による「平家物語」講座は、今年六月二十二日榎台館前で行われた「海棠」の植樹で終了した。

当時学園専務理事であった田上綱彦(二五期)氏の発案で田中章子・松田厚子(ともに二期)さんと住友友久忠(二四期)氏、さらに幼稚園教諭で高校PTAだった武田登紀子さんなどが集い、月一回のペースで講座が続けられた。



植樹には平家物語ゆかりの沙羅双樹が学園の土質気候には不適とのことで海棠が選ばれ、浅野先生らの手で記念植樹となった。

残念チア十連覇を逸す

高等学校チアリーディング部は、八月二十九日(日)国立代々木競技場第一体育館で行われたジャパンカップチアリーディング日本選手権大会高校部門で惜しくも準優勝、十連覇はならなかった。ライバルとして台頭してきた梅花高校(コーチ熨斗香理は本学園六六期生)の優勝に拍手を送り、新しい十連覇を目指すことを誓った。

同窓会費の納付をお願い致します (年間2,000円)

箕面自由学園を卒園・卒業された方は、すべて同窓会員です。(18歳未満、75歳以上の方は、会費免除)

☆毎年、年会費2,000円を支払っていただく方法
同封の郵便振替用紙で、お近くの郵便局から送金して下さい。(振り込み手数料は不要)

振込以外にも預金口座からの自動引き落としもあります。(毎年5月中旬) 手続きについては、同窓会事務局までお問い合わせ下さい。

☆終身会費による一括支払い方法
終身会費として30,000円を納付していただくと、それ以後の年会費は不要。忘れず、お得で、おすすめの納付方法です。

現在、学園の学校債をお持ちの方は、卒業される時、終身会費に振りかえ納付していただくようお願い致します。

第2回 MJGゴルフ大会のご案内

自由学園で育ったというだけで仲間となり、年齢を超え、技量を超え、楽しく集いたいと思います。一人でも多くの同窓生の参加をお待ちしております。

日時 平成22年10月17日(日) 9時半より
場所 有馬ロイヤルゴルフクラブ(神戸市北区淡河町北畑571)
参加費 20,000円(会費、プレー、昼食、会食代含む)
申込み 有馬ロイヤル(078-958-0121)
山本副支配人又は岸野営業部長までお電話ください。



昨年は23期~71期まで総数22名の方が参加しました。優勝者は、65期の中川裕介さんでした。

その時、電話・FAX番号、生年月日をお知らせください。後日、詳細をお知らせします。

【申込み締め切り9月30日】

世話人 葛村・大林・木村(31期)

編集後記
○同窓会の役員改正があり広報委員長統投を命じられ困惑していた矢先に会報発行の準備に取り掛かった。不安一新。心強い委員会メンバーがいつもながら眩しく思えた。感謝!
○この夏休みで、耐震・トイレ改修工事も終わった。これで地震にも無敵となった。学園生徒たちのトイレの神様もきつと喜ばれ、全校園生に思った。(西村記)

小林 三郎 (十七期)	小川 一哉 (十八期)	矢追 秀彦 (二十期)	橋本 雅夫 (四三期)	三村 一美 (旧職員)	加藤 義一郎 (四期)	渡辺 義幻 (旧職員)	小菅 万里子 (三三期)	平田 真之 (五九期)
金平 悦子 (二三三期)	稲垣 常子 (四期)	福本 寿郎 (二五期)	岡田 敦子 (五五期)	繁本 良夫 (三五期)	中野 哲夫 (三五期)	賀治 道隆 (三五期)	大塚 武士 (六二期)	清水 健四郎 (二六期)

第19回 関東支部総会・懇親会お知らせ

日時 平成22年10月9日(土) 12時より
場所 KKRホテル東京 東京都千代田区大手町1-4-1 TEL 03-3287-2921
会費 9,000円 (学生は半額)
アクセス 営団地下鉄東西線「竹橋駅」3B出口直結、皇居に面した内堀沿い、専用駐車場あります。
連絡先 代表幹事 長尾 益夫(30期) E-mail:AND47756@nifty.com 事務局 奥田 良子(34期) TEL 0422-46-8983

平成23年度 募集要項 ※学費(保育料)・諸費は平成22年度実績です。

<h3>幼稚園</h3>	<p>募集人員 3年保育 58名 2年保育 48名 1年保育 若干名 申込料 3,000円 願書受付 平成22年10月1日(金)~2日(土) 面接日 10月4日(月) 面接後、入園手続 入園金 3年保育児 110,000円 2年保育児 100,000円 1年保育児 90,000円 保育料(月額) 3年保育児 月)24,000円 1・2年保育児 月)23,000円 諸費 PTA会費、後援会費、給食費、積立金、バス代(利用者のみ) 【体験入園と募集説明会】 平成22年9月4日(土) 9:45 受付、10:00 開始 【保育見学会と募集説明会】 平成22年9月10日(金) 9:45 受付、10:00 開始</p>	<h3>小学校</h3> <p>募集人員 70名(男・女) 検定料 15,000円 願書受付 平成22年10月 4日(月)~ 9日(土) (面接)10月12日(火)~15日(金) (試験)10月16日(土) 合格発表 10月18日(月) 速達郵送 ※合格者に欠員が生じた場合、平成23年2月5日(土)に2次試験を実施します。 入学金 220,000円(内部進学110,000円) 学費(年額) (授業料)474,000円 (施設費)36,000円 諸費 PTA会費、後援会費、給食費、積立金(学級費・体験費用) 入試説明会 平成22年9月11日(土) 9:00受付 公開授業・児童発表・校内見学・説明会</p>
<h3>中学校</h3>	<p>募集人員 70名(男・女) 検定料 16,000円 選考内容 国語・算数の2教科型・理科または社会を加えた3教科型の学力テスト、グループ面接 【A日程】 願書受付 平成23年1月7日(金)~14日(金) 選考期日 1月15日(土) 【B日程】 願書受付 平成23年1月7日(金)~14日(金) 選考期日 1月16日(日) 【C日程】 願書受付 平成23年1月8日(土)~17日(月) 選考期日 1月18日(火) 【D日程】 願書受付 平成23年1月11日(火)~19日(水) 選考期日 1月20日(木) 【後期入試】 願書受付 平成23年1月21日(金)~28日(金) 選考期日 1月29日(土) 合格発表 入試日の翌日、速達郵便で発送 入学金 220,000円(内部進学110,000円) 学費(年額) (授業料)546,000円 (施設費)36,000円 諸費 PTA会費、後援会費、自治会費、積立金(教材費・行事費) 【入試説明会】 第1回 平成22年9月4日(土) 説明会と体験授業13:00受付13:30開始 第2回 平成23年1月8日(土) 13:00受付 13:30開始 【プレテスト】 第1回 平成22年10月16日(土) プレテストと体験授業12:00受付12:40開始 第2回 平成22年11月6日(土) 13:00受付 13:40開始 第3回 平成22年12月4日(土) 13:00受付 13:40開始 平成22年12月5日(日) 8:30受付 9:00開始 ※12月4日・5日はいずれかの日程を選択(両日受験は不可)</p>	<h3>高等学校</h3> <p>募集人員 320名(男・女) 【スーパー特進コース 30名・特別進学コース 125名 総合進学コース 125名・クラブ選抜コース 40名】 検定料 16,000円(願書提出前に銀行振込) 選考内容 ①学力テスト スーパー特進コース・特別進学コース・総合進学コース:国語・数学・英語・理科・社会の5教科 クラブ選抜コース:国語・数学・英語の3教科 ②面接(スーパー特進コース・特別進学コース・総合進学コースの専願受験者のみ) 願書受付 平成23年1月24日(月)~1月31日(月) 選考期日 (学力テスト)2月10日(木) (面接)2月11日(祝・金) 合格発表 2月13日(日) 速達郵便で発送 入学金 220,000円(内部進学110,000円) 学費(年額) (授業料)546,000円 (施設費)36,000円 諸費 PTA会費、後援会費、自治会費、積立金 【オープンキャンパス】 平成22年10月2日(土) クラブ体験・学校見学 13:30受付 14:00開始 【入試説明会】 平成22年10月30日(土)、11月13日(土)、11月27日(土)、12月11日(土) いずれも13:30受付 14:00開始</p>